

# カントリーロード

緑のふるさと協力隊員 神東美希の奮闘記

7

日本の冬に欠かせないコタツ。あまりに暖かいので、ついつい出るのおおっくうになり、怠け者度がさらに増しています。実家なら母親が「はよお、お風呂入り！」だの「そんなとこで寝られん(寝てはダメ)！」と叱ってくれるのですが、一人暮らしだとやりたい放題。不摂生な生活がたたってか、風邪

をひいてしまいました…。本町生活も9カ月を過ぎると、いろんなことが見えてきます。最近では明るい話よりも暗い話を聞くことの方が多い気がして残念です。「こん中は、はあ、ダメら〜」「しよんないよ〜」なんて聞くと、こつちまで気分が暗くなってしまう。私はずっと気になっていること

があります。それは「本町の人こそがこの町を知らない」ということです。自分の住んでいる地区のことは熟知していても、町内のほかの地区のことは意外と知らないんじゃないでしょうか。ことあるごとに「本川根、中川根」という表現を耳にしますが、「川根本町」になって6年が経つというのに、まだ別々の町のような、他人行儀な言い方をしているのも気にかかります。

ありがたいことに、私は「緑のふるさと協力隊」という立場を生かして町内のさまざまな場所を活動させてもらっています。おかげで町内のほとんどの地区に知り合いができたし、貴重な体験もたくさんさせてもらいました。この町をどんな好きになりました。それは本当に感謝しているのですが、私は本町の皆さん一人一人こそが「川根本町のふるさと協力隊」になっ

てほしいと願っています。週末には島田や静岡に出かけるのではなく、本町で開かれるイベントに参加したり、行ったことのない地区に出かけてみたりしてはどうでしょう。本町の良さを外に

## A Country Road

発信することも大事ですが、まずは住んでいる人が自分の町を知って好きにならないことには始まりません。「しよんないよ〜」だの「かいだるい」だのと言わないで、新たな視点で古里「川根本町」を見つめ直してみませんか。生意気なことを書きました。でも、本川根でも中川根でもない、ヨソ者の私だから見えること、言えることがあるんじゃないかと感じています。ヨソ者ではありませんが、今は私も川根本町民。良いことも悪いこともひつくるめてこの町が好きだから、「もつとこの町を良くしたい、もつと知りたい!」と思っています。

「ヒトの魅力@かわねほんちよ」のインタビューでは、前向きに頑張っている魅力的な人に出会えます。そういう人たちとの出会いから、たくさんのパワーをもらっています。2012年は私が皆さんにパワーを与えられるように…。とりあえず、不摂生な生活を直すことから始めなきゃなあと思っているところです。

こんな私ですが、2012年もどうぞよろしくお願いします!



連載も7回目を迎え、私の認知度も急上昇。11月号で「お鍋のお誘い待ってます」と書いたところ、さっそく数件の反応がありました。いや〜書いてみるもんですね(笑)でもまだまだ協力隊の存在を知らない人も多いようです。本町に来て9カ月、同じ徳山の人でさえ私のことを知らなかったのはさすがにショックでした。「認知度が上がってきた」と調子にのっている場合ではありません。

神東美希(かんとみき) 愛媛県伊予市出身 緑のふるさと協力隊員第18期生  
緑のふるさと協力隊は、特定非営利活動法人地球緑化センターが推進する事業。  
農山村に興味を持つ若者を、地方自治体に一年間派遣。隊員として、農業や観光施設などで協力活動をする。美希さんは、本町5代目の隊員。  
ブログ「徒然かつこin川根本町」執筆中! <http://katsuko-topparohy.seesaa.net/>

